

国立高度専門医療センターの概要

国立高度専門医療センターの概要について(国立病院・療養所の歴史)

終戦後

戦後、厚生省が旧陸海軍病院及び軍事保護院所管の傷痍軍人療養所等の移管を受けて発足し、医療施設不足の状況下、復員者・引揚者の医療や戦後日本の国民病たる結核対策に大きな役割を果たす。

(注)国立病院は旧陸海軍病院を引き継ぎ、国立療養所は傷痍軍人療養所や日本医療団の結核療養施設を引き継ぎ発足。国立療養所は、特に結核、重症心身障害、筋ジストロフィー等長期の治療が必要な専門的医療を実施。

昭和20年度 厚生省に国立病院・療養所を移管
昭和24年度 国立病院特別会計法の制定

高度成長期

- がん、高血圧、心臓病等国民の死亡原因の上位を占める疾病に対する医療等について機能の充実。
- 障害施策拡充のため、重症心身障害児(者)、進行性筋萎縮症児(者)等に対する特殊疾病対策を推進。
- 施設の老朽化に対応するため、借入金制度を導入。
- 国立療養所を特別会計に移管。

昭和36年度 国立がんセンター発足
昭和38年度 借入金制度の導入
昭和43年度 国立療養所(ハンセン病療養所を除く。)を特別会計に移行
(病院勘定・療養所勘定の2勘定制へ)

その後

- 疾病構造の変化に対応し、高度先駆的医療、研究等を担う中核的機関である国立高度専門医療センター(NC)を整備。
- 再編計画を策定し、施設の統廃合、経営移譲を進める。

昭和52年度 国立循環器病センター発足
昭和61年度 国立精神・神経センター発足
平成5年度 国立国際医療センター発足
平成13年度 国立成育医療センター発足
平成15年度 国立長寿医療センター発足

国病機構独法化

- 中央省庁等改革の一環として、国立高度専門医療センター及びハンセン病療養所を除き独立行政法人に移行。

平成16年度 (独)国立病院機構発足

NC独法化

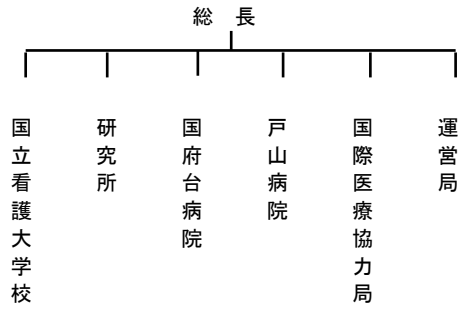
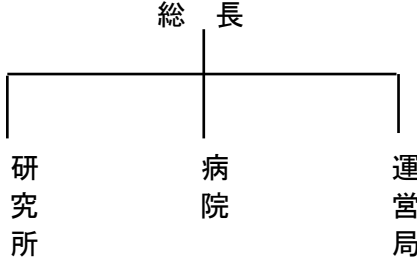
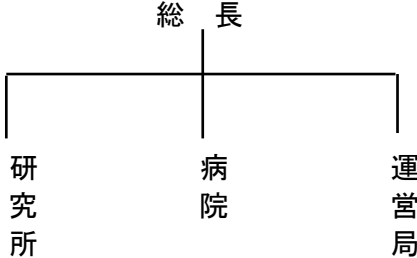
- 行革推進法等を踏まえ、国立高度専門医療センター特別会計は廃止され、各国立高度専門医療センターはそれぞれ独立行政法人に移行。

平成22年度
(独)国立がん研究センター、
(独)国立循環器病研究センター、
(独)国立精神・神経医療研究センター、
(独)国立国際医療研究センター、
(独)国立成育医療研究センター、
(独)国立長寿医療研究センター 発足予定

国立高度専門医療センターの概要

国立高度専門医療センター（いわゆるナショナルセンター）は、我が国における死亡数、患者数、医療費のいずれをとっても最も大きな割合を占める「がん」、「脳卒中」、「心臓病」など、その制圧が国民的課題となっている疾病について、高度先駆的医療の研究・開発・普及、医療従事者の研修及び情報発信等を総合的・一体的に行うための中核的機関として、運営局、病院、研究所を設置したものである。

センター名	国立がんセンター (National Cancer Center)	国立循環器病センター (National Cardiovascular Center)	国立精神・神経センター (National Center of Neurology and Psychiatry)
創設年月日	昭和37年 1月 1日	昭和52年 6月 1日	昭和61年10月 1日
総長	廣橋 説雄	橋本 信夫	樋口 輝彦
所在地	①中央病院：東京都中央区築地5-1-1 ②東病院：千葉県柏市柏の葉6-5-1	大阪府吹田市藤白台5-7-1	東京都小平市小川東町4-1-1
組織	<pre> graph TD A[総長] --- B[研究所] A --- C[がん情報対策センター] A --- D[がん研究防センタ診] A --- E[東病院] A --- F[中央病院] A --- G[運営局] </pre>	<pre> graph TD A[総長] --- B[研究所] A --- C[病院] A --- D[運営局] </pre>	<pre> graph TD A[総長] --- B[精神保健研究所] A --- C[神経研究所] A --- D[病院] A --- E[運営局] </pre>
定員	1,342名（21年度予算定員）	1,010名（21年度予算定員）	616名（21年度予算定員）
病床数	①中央病院：600床 ②東病院：425床	640床	890床
主な事業内容	我が国のがん対策の中核的機関として、がんその他の悪性新生物についての診断、治療、調査研究及び医療従事者の研修等を行う。	我が国の脳卒中、心臓病等の循環器病対策の中核的機関として、循環器病についての診断、治療、調査研究及び医療従事者の研修等を行う。	我が国の精神・神経疾患対策の中核的機関として、精神、神経、筋疾患及び知的障害その他の発達障害についての診断、治療、調査研究及び医療従事者の研修等を行う。

センター名	国立国際医療センター (International Medical Center of Japan)	国立成育医療センター (National Center for Child Health and Development)	国立長寿医療センター (National Center for Geriatrics and Gerontology)
創設年月日	平成 5 年 10 月 1 日	平成 14 年 3 月 1 日	平成 16 年 3 月 1 日
総長	桐野 高明	加藤 達夫	大島 伸一
所在地	①戸山病院：東京都新宿区戸山1-21-1 ②国府台病院：千葉県市川市国府台1-7-1	東京都世田谷区大蔵2-10-1	愛知県大府市森岡町源吾36-3
組織			
定員	1, 527名 (21年度予算定員)	751名 (21年度予算定員)	434名 (21年度予算定員)
病床数	①戸山病院：925床 ②国府台病院：719床	460床	300床
主な事業内容	我が国の医療分野における国際貢献の中核的機関として、感染症等国際的な調査研究が必要な疾病についての診断、治療、調査研究及び医療従事者の研修等を行う。	我が国の成育医療の中核的機関として、小児医療、母性医療、父性医療及び関連・境界領域を包括する成育医療についての診断、治療、調査研究及び医療従事者の研修等を行う。	我が国の長寿医療の中核的機関として、加齢に伴って生じる心身の変化に起因する疾患であって、高齢者が自立した日常生活を営むために特に治療を必要とするものに関する診断、治療、調査研究及び技術者の研修等を行う。

国立高度専門医療センター（NC）の職員数

平成21年度末定員数

	医 師	看護師	医療技術職員	事務職	研 究	その他	合 計
国立がんセンター	239	714	169	74	131	15	1,342
国立循環器病センター	143	554	150	51	98	14	1,010
国立精神・神経センター	63	330	63	52	95	13	616
国立国際医療センター	242	897	167	106	43	72	1,527
国立成育医療センター	142	447	74	47	38	3	751
国立長寿医療センター	63	233	49	34	55	0	434
合 計	892	3,175	672	364	460	117	5,680

注1 医療技術職員は、薬剤師、診療放射線技師、臨床検査技師、臨床工学技士、理学療法士 等である。

注2 事務職には、医療社会事業専門員等の福祉職適用職員を含む。

注3 その他職員は、国立看護大学校の教育職員及び看護助手、調理師等の行政職(二)適用職員である。

国立高度専門医療センター（NC）職員の採用・異動等の現状

○ NC職員に対する任命権者

・管理職職員 …… **厚生労働大臣** ・管理職職員以外の職員 …… **総長** ※

※ 国家公務員法の規定により任命権を委任。

- 任命権とは、職員の採用、昇任、異動等の任用行為を行う権限。
- 任命権者は、任命権を有する者であり、国家公務員法上、所管行政の責任者として、事務を統括し、サービスを統督する各省の長等に任命権を付与することにより、任命権の所在と責任を明確にしている。

○ NC職員の採用・異動の現状

■ 職員の採用方法 …… **試験採用**（競争試験による採用） 又は **選考採用** ※

※ 管理職職員や研究職員の選考採用に当たっては、より優秀な人材の確保を図るため、**公募を実施**。

■ 職員の人事異動（転任・配置換）

- 転任又は配置換は、公務上の必要性に基づく判断を基本に、任命権者による任命権の行使。

〔 転 任 …… 職員を任命権者を異にする他の官職に任命すること。
配置換 …… 職員を任命権者を同じくする他の官職に任命すること。 〕

- 従来から、事務職、看護師その他コメディカル職員は、良質な人材育成及び確保を図ることを目的に、国立病院機構（旧国立病院・療養所）、国立ハンセン病療養所などの機関との人事交流を実施。
- これら機関との人事交流による施設異動及び職務異動の経験を積み重ねることで、幹部職員等の人材育成を実施。

■ 職員の採用、異動等の現状（主な職種）

職 種	採用方法等	主な人事交流機関	備 考
医 師	選考 ※ 医長、部長等管理職職員は公募を実施	国立病院機構、国立大学法人 等	
研究職		-----	研究計画等に応じ、任期付任用を適用
看護師	選考 ※ HP等へ採用募集を掲載	国立病院機構、ハンセン病療養所 等	
事務職	試験採用 ※ 国家公務員試験合格者を採用		厚労本省、厚生局との人事交流あり

平成21年度国立高度専門医療センター特別会計予算の概要

(単位：億円、%)

歳 入			歳 出		
事 項	21年度予算額	構 成 比	事 項	21年度予算額	構 成 比
診 療 収 入	881	56.9	政策医療推進費	1,152	74.5
借 入 金	98	6.3	施 設 整 備 費	145	9.3
積立金より受入	6	0.4	特 別 整 備 費	98	6.3
医療技術開発等 研 究 収 入	89	5.8	一 般 整 備 費 等	47	3.0
雑 収 入	10	0.7	国 債 整 理 基 金		
一般会計繰入	463	29.9	特 会 繰 入	176	11.4
			医 療 技 術 開 発 等	74	4.8
合 計	1,547	100.0	研 究 費		
			合 計	1,547	100.0

国立がんセンター

沿革・組織

設立年月日：昭和37年1月1日

所在地：東京都中央区築地（中央病院）

千葉県柏市（東病院）

組織：中央病院、東病院、研究所、がん予防・検診研究センター、
がん対策情報センター、運営局

定員：1,342名（うち医師239名、平成21年度予算定員）

病床数：600床（中央病院）、425床（東病院）



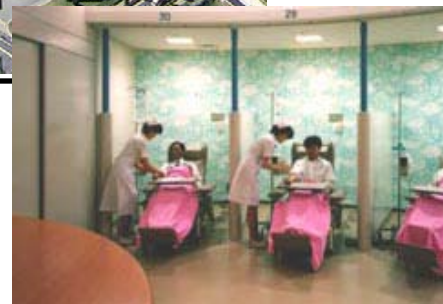
設置目的

我が国のがん対策の中核的機関として、がんその他の悪性新生物についての診断、治療、調査研究及び医療従事者の研修等を行う。

特徴

○ 質の高い医療の提供

- ・ 年間5,000件の手術、1日約120人の通院化学療法を実施（中央）
- ・ 陽子線治療等先進医療の提供と併せ、モデル的緩和ケアを提供（東）



○ がんの原因・本態解明、革新的な検診法や診断・治療技術の開発、 がん医療の均てん化、がん情報の提供

- ・ 原因・本態解明を通じた予防法や高度先駆的な検診・診療技術の開発
- ・ 多施設共同臨床研究によるがん医療の標準化
- ・ がん医療やがん登録など専門情報等の提供や研修等による人材育成



国立循環器病センター

沿革・組織

設立年月日：昭和52年6月1日

所在地：大阪府吹田市

組織：病院、研究所、運営局

定員：1,010名（うち医師143名、平成21年度予算定員）

病床数：640床



設置目的

我が国の脳卒中、心臓病等の循環器病対策の中核的機関として、循環器病についての診断、治療、調査研究及び医療従事者の研修等を行う。

特徴

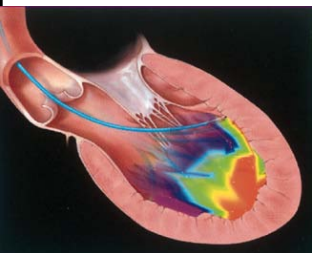
○最新・最善の医療の提供

- ・年間約3,000件の重症循環器病救急搬送を受け入れ
- ・国内心移植48例のうち、22例を実施
- ・脳梗塞に対する超急性期血栓溶解療法（tPA静注療法）を年間50例以上実施



○先端医療技術の開発と普及

- ・在宅型体内埋め込み型人工心臓・次世代型呼吸補助装置の開発
- ・世界に先駆けて発見した生理活性ペプチド、タンパク質を診断・治療の開発へ応用
- ・1,400名以上の若手医師を育成、84カ国から900名以上の外国人研修生を受け入れ



国立精神・神経センター

沿革・組織

設立年月日：昭和61年10月1日

所在地：東京都小平市

組織：病院、神経研究所、精神保健研究所、運営局

定員：616名（うち医師63名、平成21年度予算定員）

病床数：890床



（平成23年度完成予定）



設置目的

我が国の精神・神経疾患対策の中核的機関として、精神、神経、筋疾患及び知的障害その他の発達障害についての診断、治療、調査研究及び医療従事者の研修等を行う。



特徴



（触法病棟）

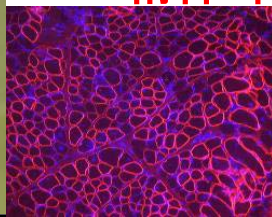
○脳とこころと身体の健全な統合を目指す医療の実践

- ・ 1日平均400名以上の精神・神経外来患者を受け入れ
- ・ 1万以上の筋検体を保存する、筋ジストロフィー確定診断の中核施設
- ・ パーキンソン病、筋ジス、難治性てんかん等神経難病、うつ病等難治性精神疾患に対する内科的、外科的治療の実施

○世界唯一の「精神・神経センター」として、統合的な精神・神経科学研究を実施

- ・ 多発性硬化症に対する画期的治療薬の開発
- ・ 筋ジストロフィーに対する遺伝子治療の推進
- ・ 自殺対策の研修及び情報提供、自殺の危険因子の解明

（筋ジスモデル動物）



沿革・組織

国立国際医療センター

設立年月日：平成5年10月1日

所在地：東京都新宿区(戸山病院)

千葉県市川市(国府台病院)

組織：戸山病院、国府台病院、研究所、国際医療協力局、
国立看護大学校、運営局

定員：1,527名(うち医師242名、平成21年度予算定員)

病床数：925床(戸山病院)、719床(国府台病院)

(平成22年度完成予定)



設置目的

我が国の医療分野における国際貢献の中核的機関として、感染症等国際的な調査研究が必要な疾病についての診断、治療、調査研究及び医療従事者の研修等を行う。



(平成23年度完成予定)

特徴

○高度総合専門医療の提供

- ・1日約1,600名の外来患者の受け入れ、年間約11,000件の手術の実施(戸山)
- ・月平均約1,000名のエイズ外来患者の受け入れ(戸山)
- ・児童精神科のほか、肝炎・免疫研究センターを整備し、専門医療を提供(国府台)



(特定感染症病床)



○国際医療協力の実践、研究の実施

- ・途上国へ年間約200名の専門家派遣、約300名の研修生受け入れ
- ・海外拠点との共同研究により、鳥インフルエンザ迅速診断キットを開発
- ・ウイルス肝炎治療の有効性を治療前遺伝子診断で判定
- ・2型糖尿病関連遺伝子の同定



判定ライン出現の有無で誰でも判定可能

国立成育医療センター

沿革・組織

設立年月日：平成14年3月1日
所在地：東京都世田谷区
組織：病院、研究所、運営局
定員：751名（うち医師142名、平成21年度予算定員）
病床数：460床（病院）



設置目的

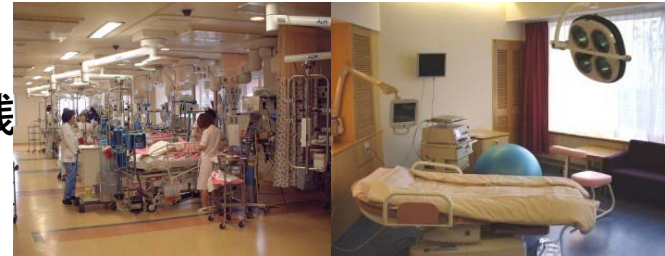
我が国の成育医療の中核的機関として、小児医療、母性医療、父性医療及び関連・境界領域を包括する成育医療についての診断、治療、調査研究及び医療従事者の研修等を行う。



特徴

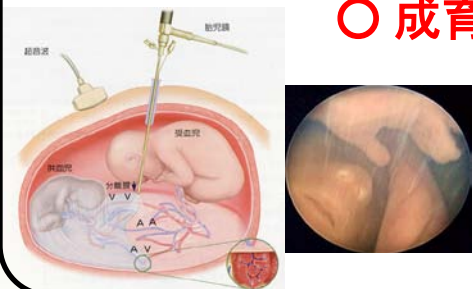
○成育医療における高度先駆的医療やモデル医療の提供

- ・年間1,600件以上の分娩、年間約6,300件の小児手術を実践
- ・小児ICU等を活用した24時間365日体制の重症小児救急搬送の受け入れ
- ・虐待等を含めた小児のこころのケア



○成育医療を発展させるTR等の研究の推進

- ・超音波や胎児内視鏡を用いた胎児医療の実施
- ・免疫異常等小児難病に対する遺伝子治療の開発
- ・iPS細胞、ES細胞を用いた再生医療の推進
- ・妊娠と薬の情報提供や子どもの事故防止プログラムの提供



国立長寿医療センター

沿革・組織

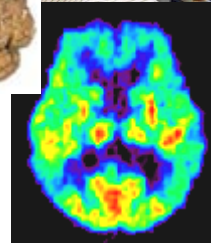
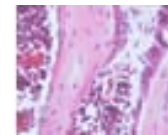
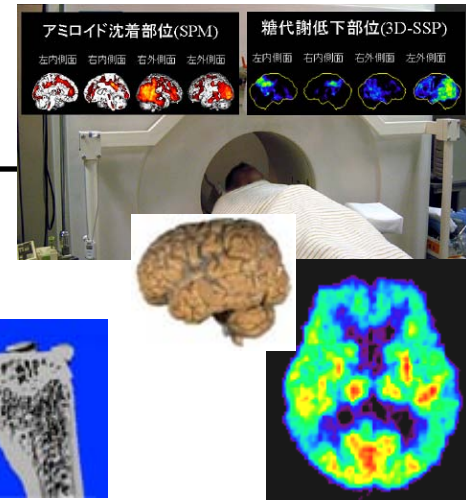
設立年月日：平成16年3月1日
所在地：愛知県大府市
組織：病院、研究所、運営局
定員：434名（うち医師63名、平成21年度予算定員）
病床数：300床



設置目的

我が国の長寿医療の中核的機関として、加齢に伴って生じる心身の変化に起因する疾患であって、高齢者が自立した日常生活を営むために特に治療を必要とするものに関する診断、治療、調査研究及び医療従事者の研修等を行う。

特徴



○ 高齢者疾患の包括的・全人的医療の提供

- ・高齢者の生活の質を向上に向けた医療の提供
- ・地域の保健・医療・福祉と連携した在宅医療モデルの開発・提供
- ・認知症の早期診断法の開発等の先駆的医療の提供



○ 老化の制御と老年病克服のための新しい医療の発展の普及に尽力

- ・認知症、骨粗鬆症の病態解明と新規治療法の開発
- ・再生医療による革新的歯科治療技術の開発
- ・全国の医師に研修を実施、年間約300名の「認知症サポート医」を養成